

Herschel400 導入星図 試作品

353～／400を試作

星図は滝星図 8.5 を使用し、視野 1 度の円と明るい星からの導入路を補った。

http://www.geocities.jp/toshimi_taki/index.htm

Deta は The Night Sky Observer's Guide から採った。

球状星団のクラス、銀河の表面輝度(Surface Brightness)、惑星状星雲の中心星は重要なので補った。



No.	Name	Typ	Mag.	size	-	Near star	Rating
1	NGC40	PN	12.4	37"	cs=11.6	γ Cep	-

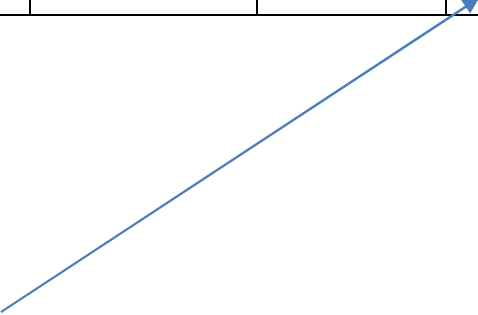
JR's Deep Sky Atlas No. **B-1** or **C-11**



拡大用に JR's の Deep Sky 星図の番号を補った。

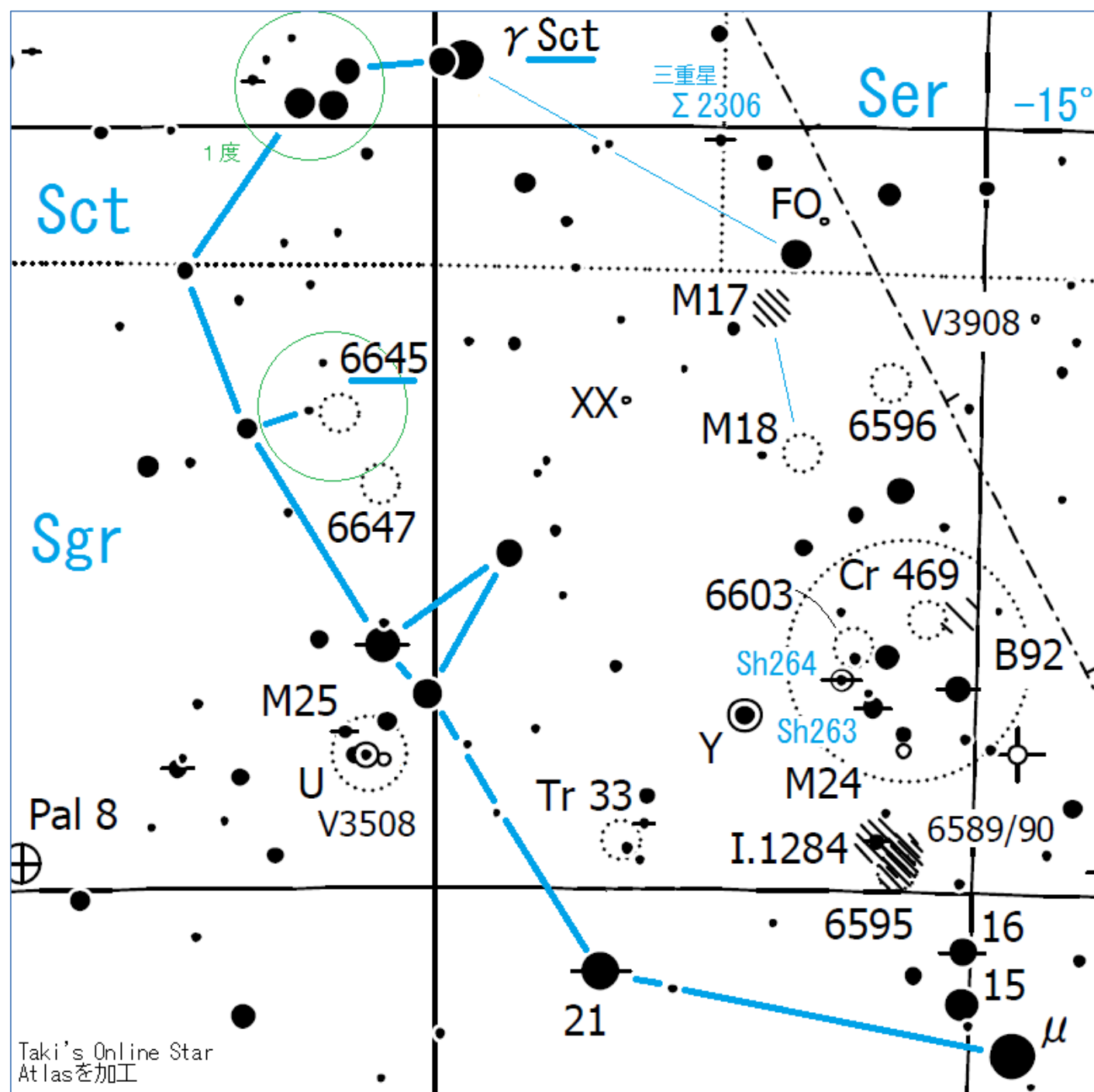
<http://www.uv.es/jrtorres/triatlas.html>

8 インチ、銀河の見えない光害地での評価を仮に記入した。

- 筒を向けていない
 - * 見えない
 - ** 暗い
 - *** 見やすい
 - **** 良い
 - ***** 明るく見やすい。
- 

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
353	6645	OC	8.5	10'		γ Sct	-

JR' s Deep Sky Atlas No. B-68 or C-368, 369

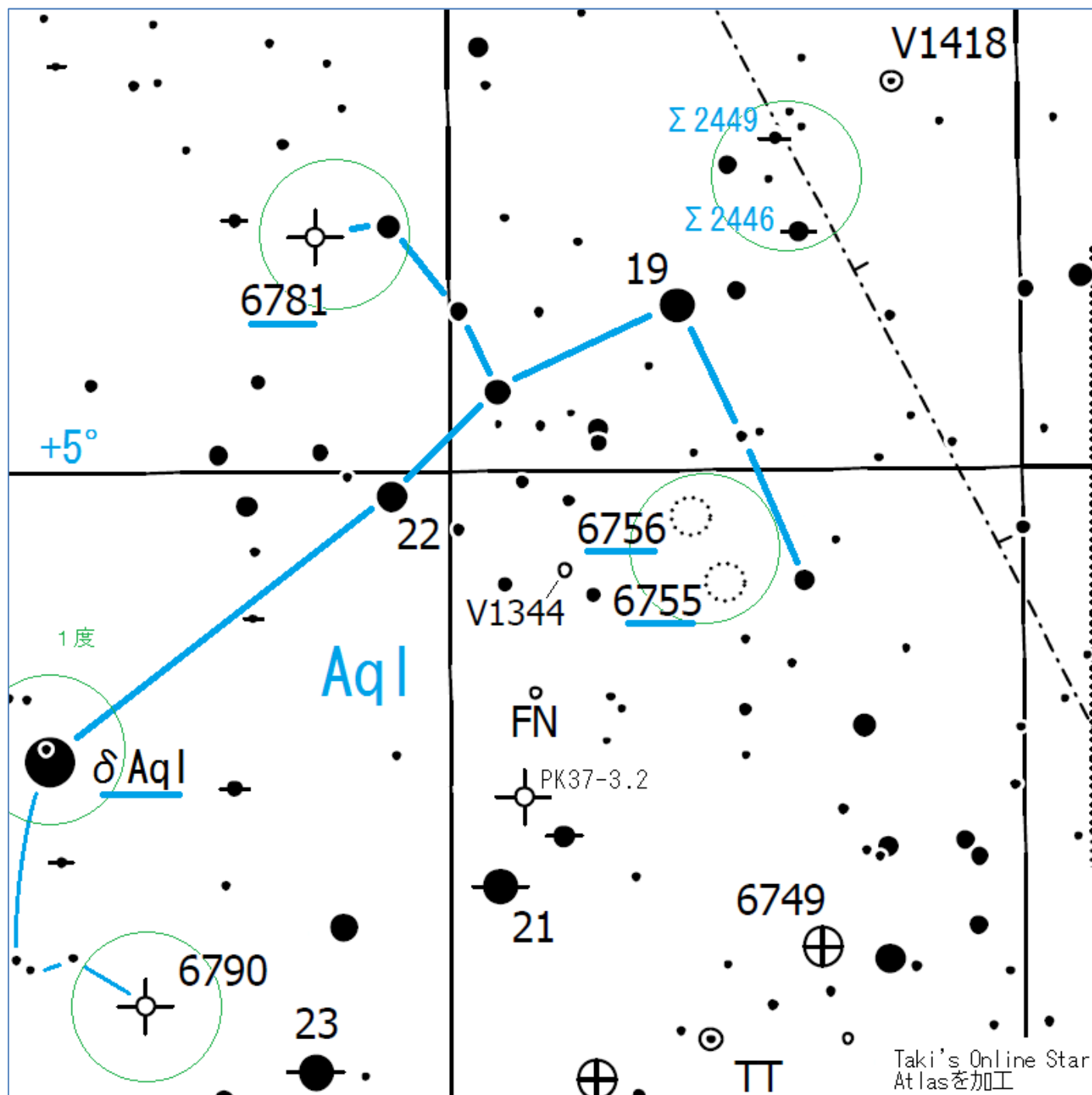


M25 の北の暗い星団。

M25, M17, M18, M24 と見所が満載。H400 を意識しないと見ないだろう。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
356	6755	OC	7.5	14'		δ Aql	-
357	6756	OC	10.6	4'		δ Aql	-
358	6781	PN	11.4	109"	cs=16.2	δ Aql	**

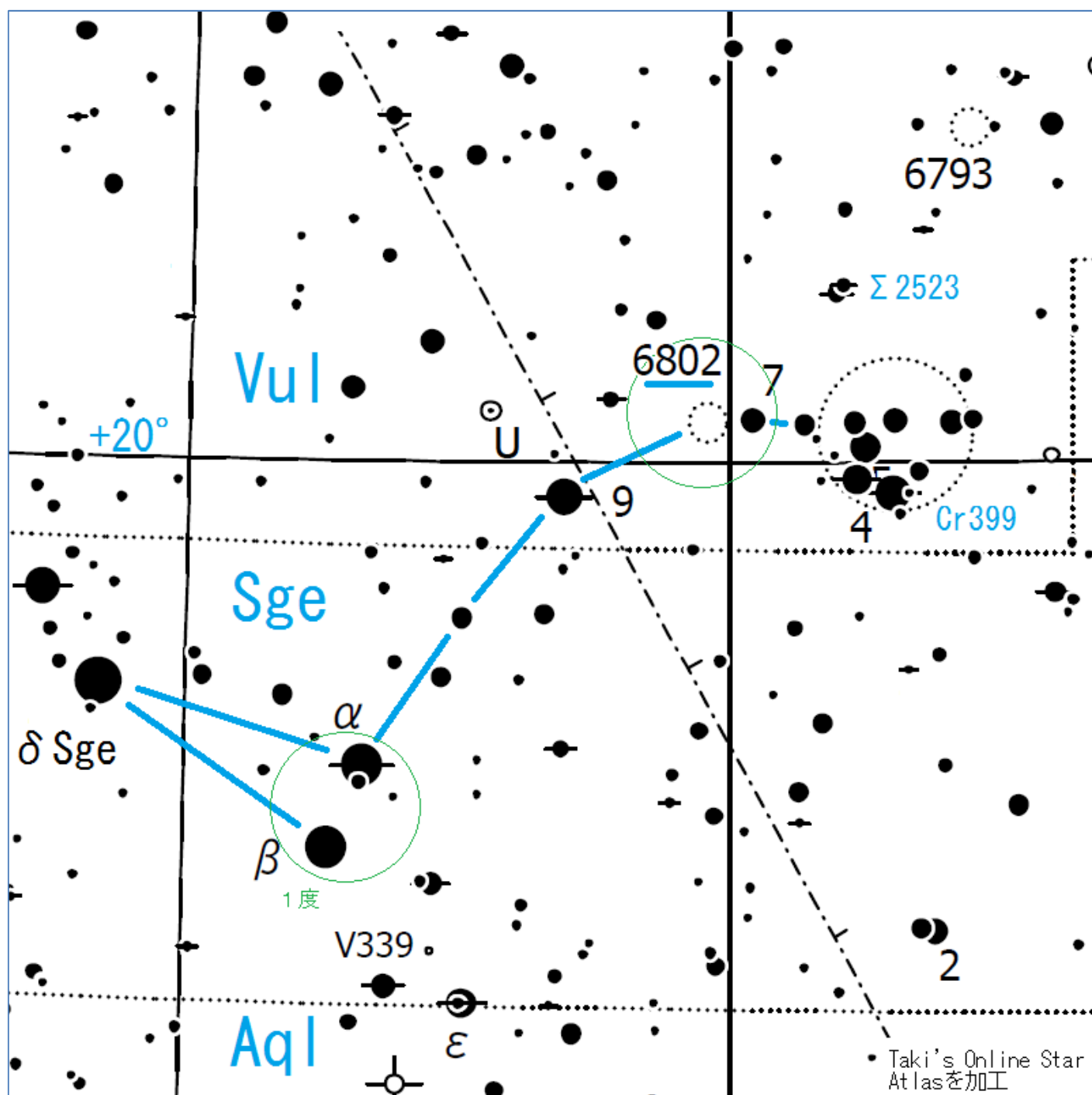
JR' s Deep Sky Atlas No. B-29 or C-224, 272, 273



6781 は淡いが星雲状に見える、貴重な惑星状星雲。対して 6790 は $m=10.5$ $7''$ $cs=15.5$ で 6781 より明るい恒星状。散開星団はハーシェルが見落とした IC4756, NGC6709 の方がずっと良い。特に 6756 はひどそう。19 番星の右上に開いたダブル二重星。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
359	6802	OC	8.8	3.1'		α Sge	-

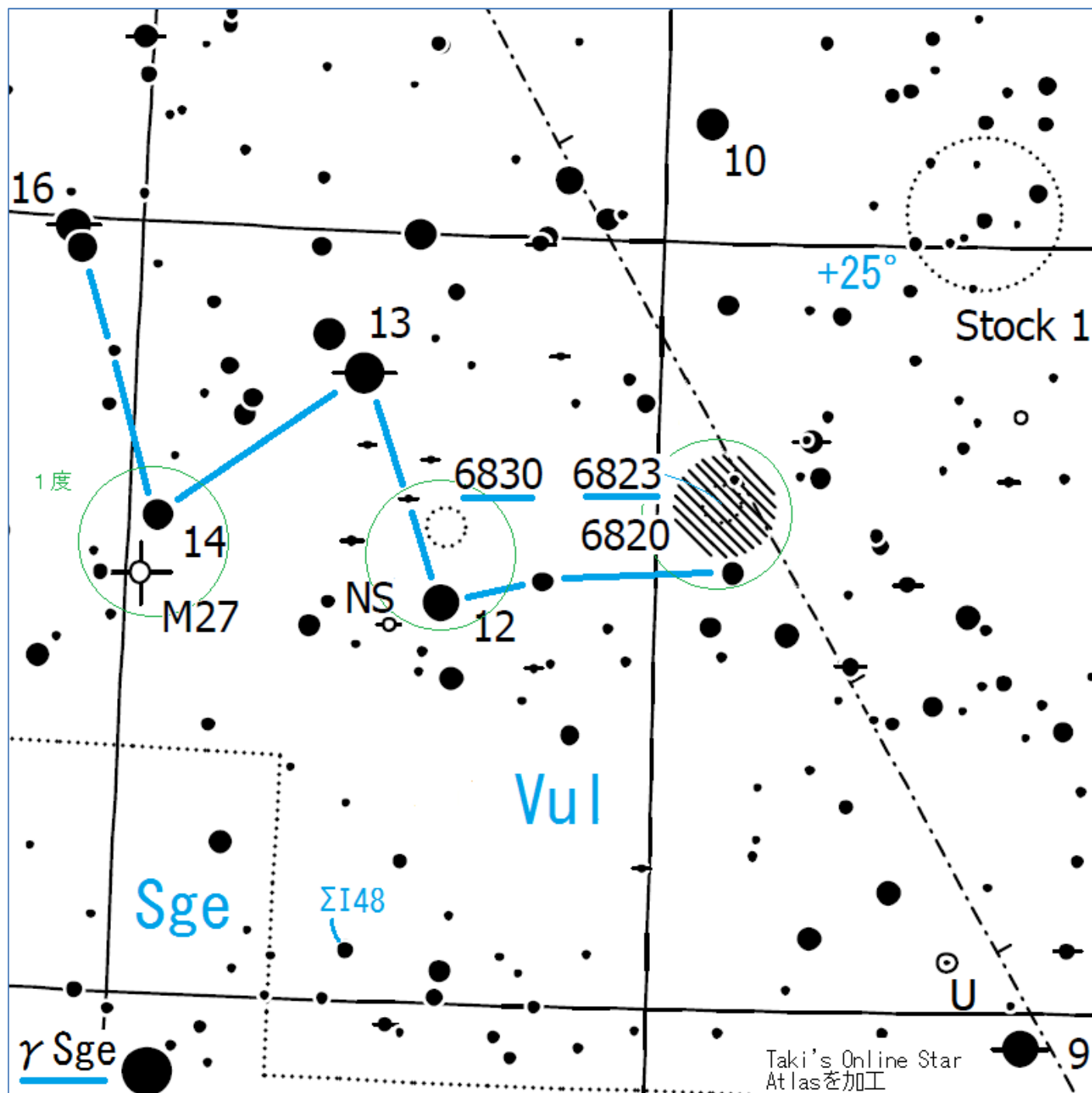
JR' s Deep Sky Atlas No. B-30 or C-178



コートハンガーに接した星団。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
361	6823	OC	7.1	12'		M27	**
363	6830	OC	7.9	12'		M27	-

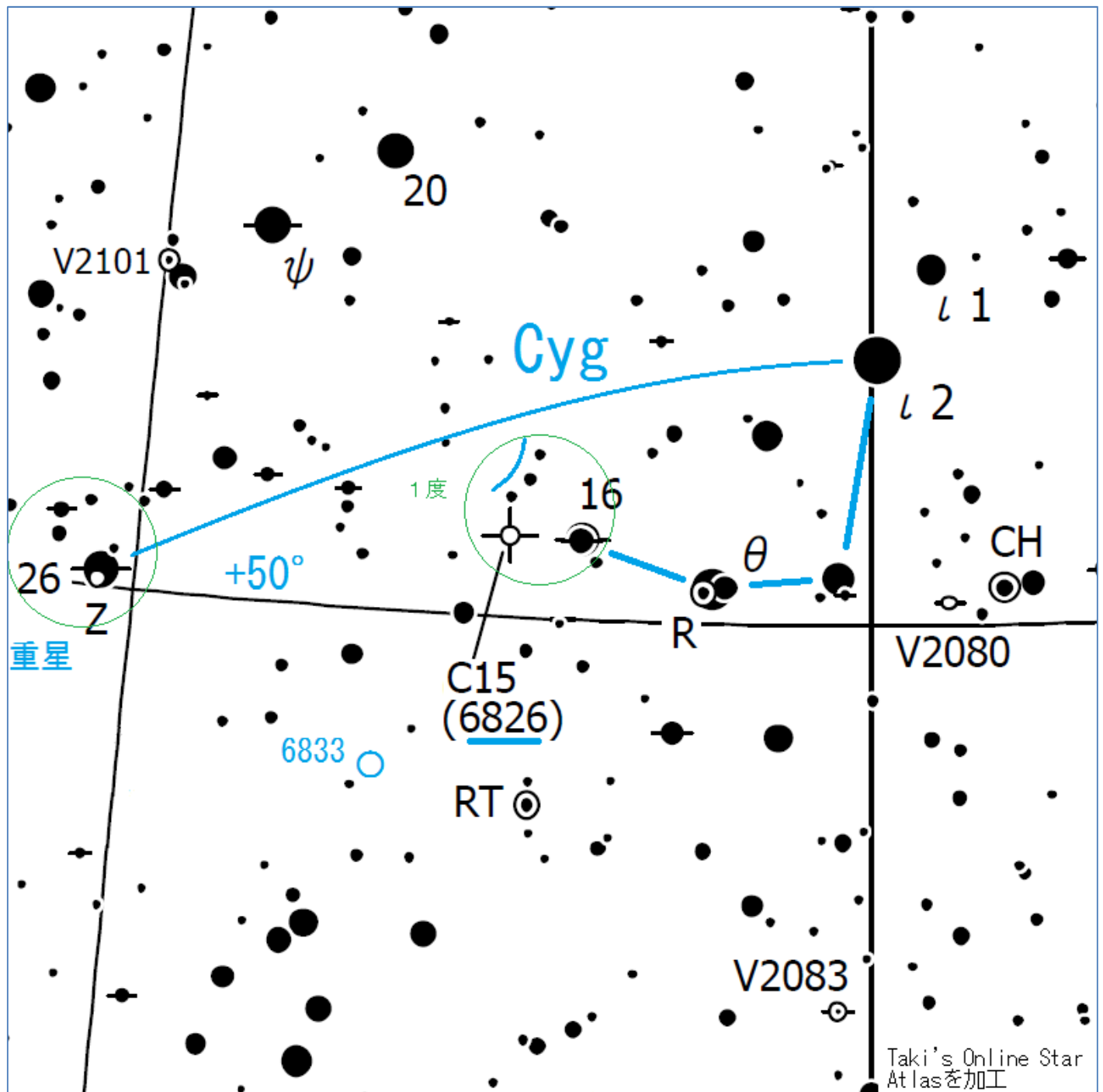
JR' s Deep Sky Atlas No. B-29 or C-177



6823 は明るく、散光星雲 6820 を含む。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
362	6826	PN	8.8	>25"	cs=10.6	θ Cyg	**

JR' s Deep Sky Atlas No. B-13 or C-61

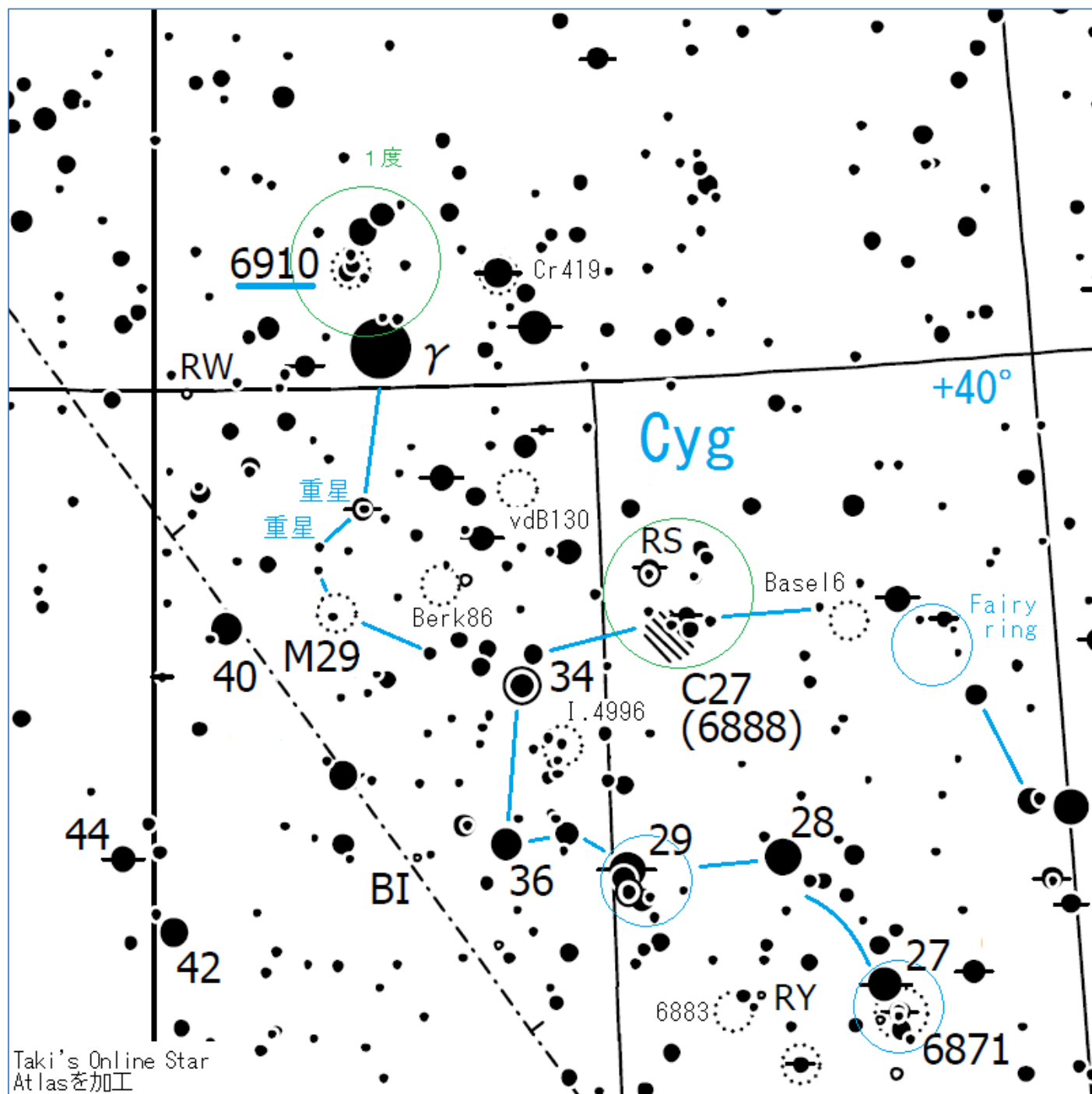


中心星が10.6等なので楽に見える。星雲は直視では中心星より暗くて見えず、そらし眼では星より明るいので、それを「まばたき」星雲と呼ぶライトが居る。中堅の良い惑星状星雲で、近くに立派な重星の16番星があり、セットで楽しめる。

6833は惑星状星雲で12.1等で2秒である。見えると思うが恒星状でガイドにも登場しない天体。滝星図はPKの暗い惑星状星雲を物凄く載せる割に、NGC・ICの惑星状星雲が10～12等でも欠落する例が多い。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
369	6910	OC	7.4	7'		γ Cyg	***

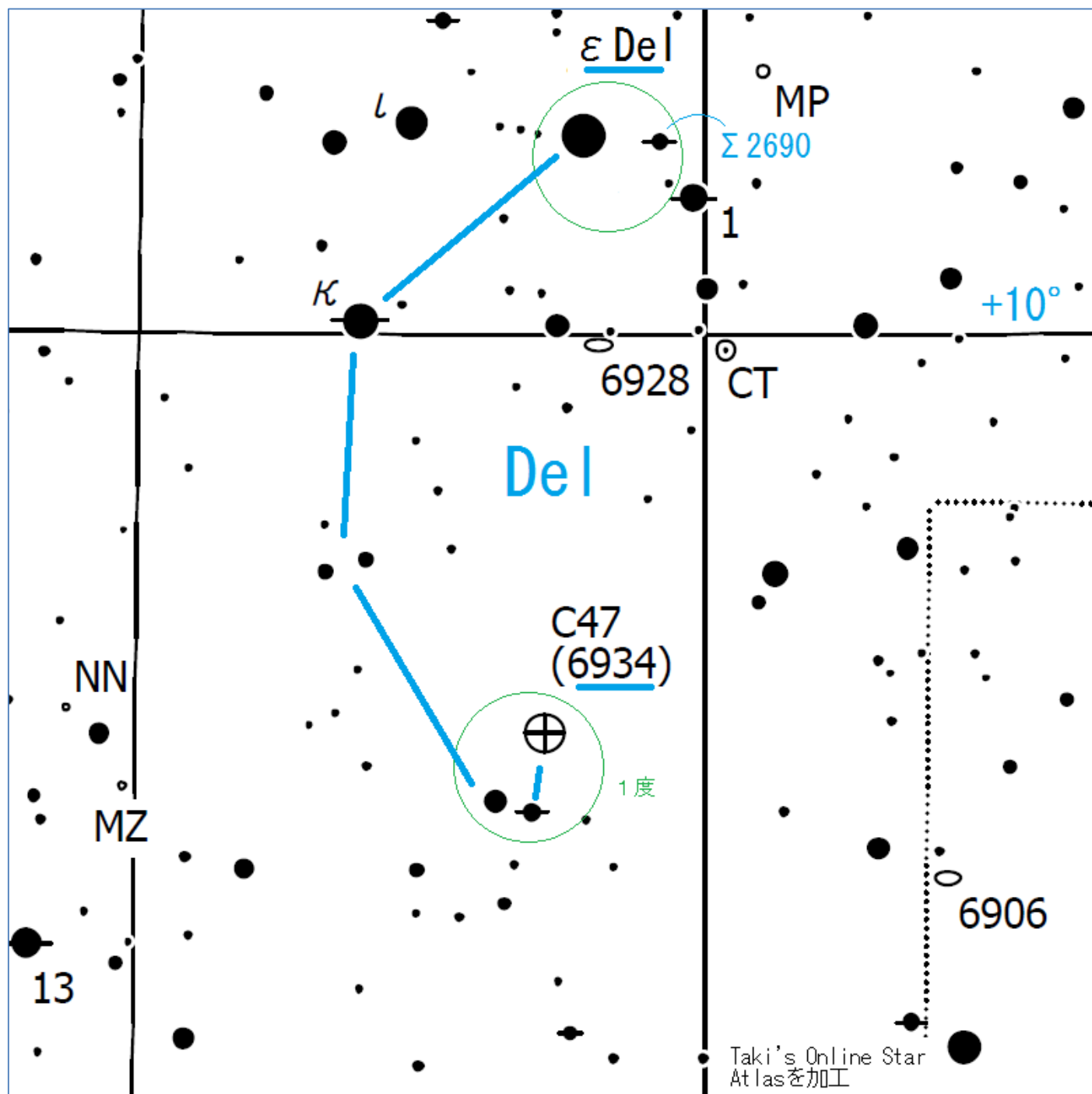
JR' s Deep Sky Atlas No. B-13 or C-94



6910 は γ 星に近く容易。コンパクトで明るい。他に、夏の銀河の中で何を拾うか。二重星 2 つを介して地味な M29 を拾い、難しい 6888 だろうか。その延長にアステリズムの Fairy Ring は小二重星 4 つ以上の半円。派手な星野をたどって 27 番星に 6871 が接する。重星の 3 つ 4 つが星団という、色は青だがヒアデスの。銀河を歩くと暗い二重星は普通にあるとわかる。もう少し行くとほくちょう座 χ が居るが別の機会にしよう。もちろん 6910 以外は恣意的な案内だ。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
370	6934	GC	8.7	5.9'	Class 8	ϵ Del	***

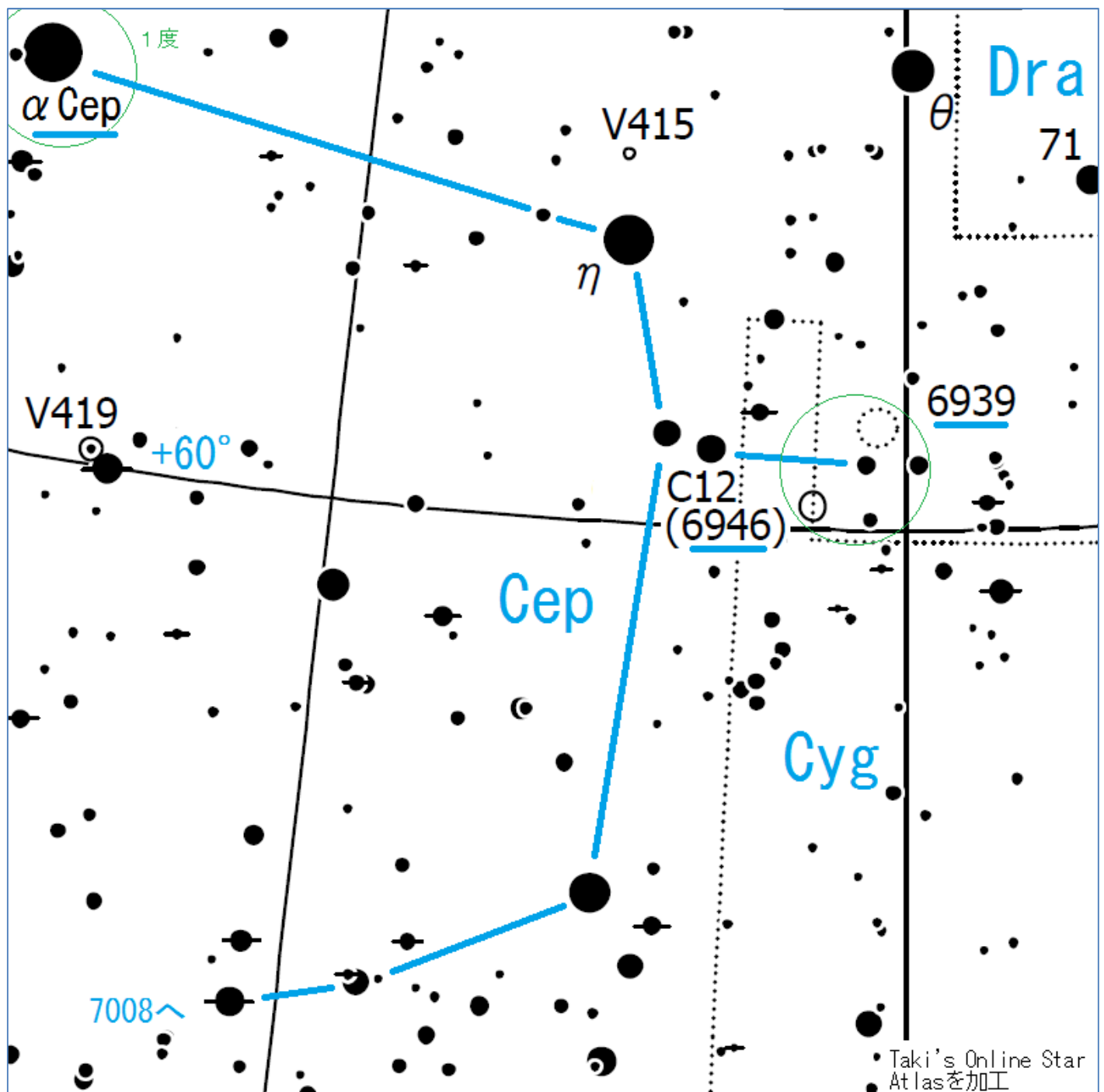
JR' s Deep Sky Atlas No. B-48 or C-222



球状星団のクラス8は微妙だが、これはまあまあ見える。近くのM72の9.2等、クラス9より高度もあり総合でかなり良く見える。メシエ天体よりずっと見え無名、そういう意味でお勧め。二重星 Σ 2690は7等の等光の開いたペア。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
371	6939	OC	7.8	7.0'		α Cep	*?
373	6946	Gx	8.8	13*13'	SB=14.2	α Cep	*

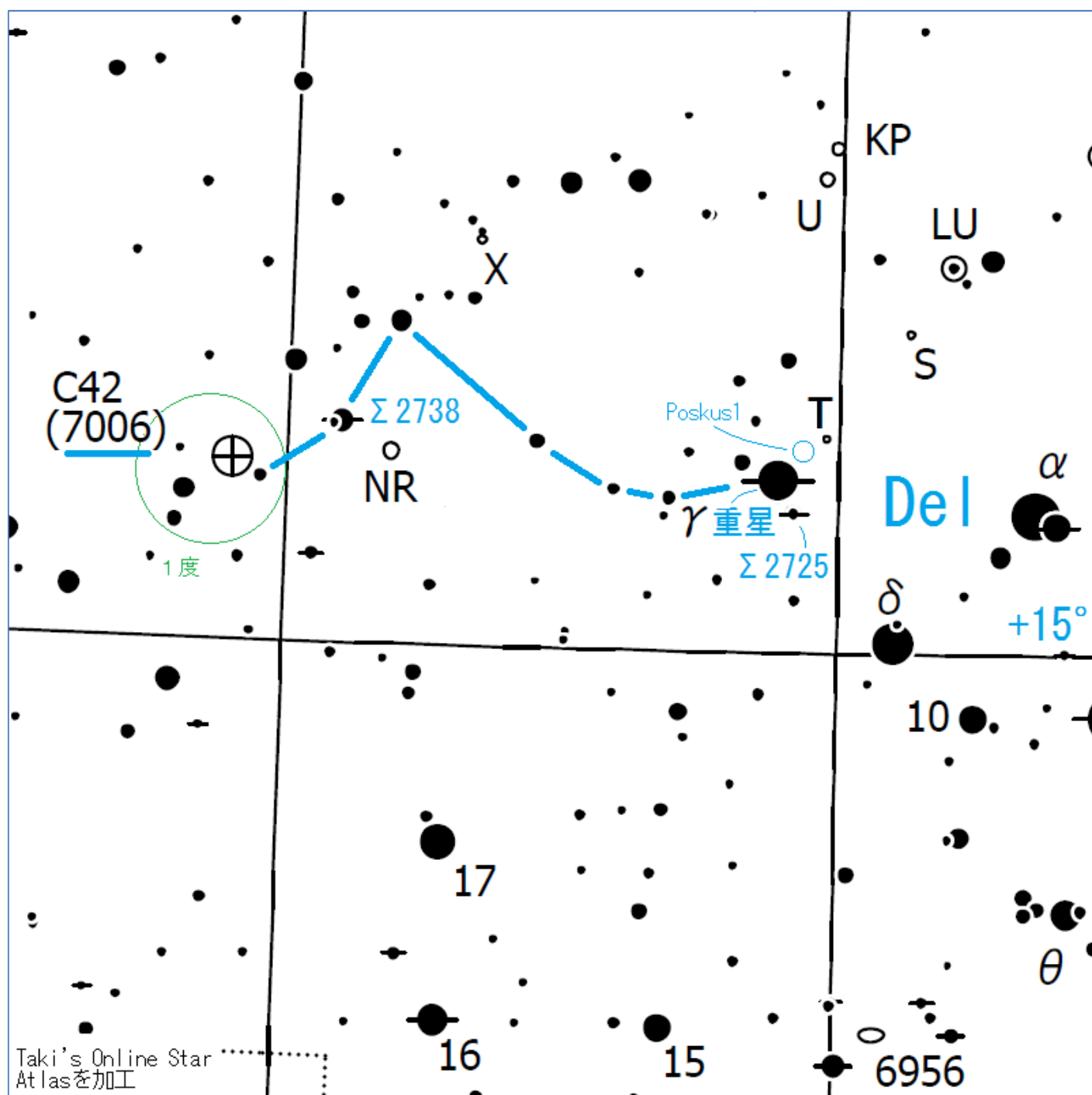
JR' s Deep Sky Atlas No. B-12 or C-33



市街地での観望に慣れると、M33に似る銀河と、微星ビッシリの散開星団は見えないと気づく。この2つはその類のペア。そういう天体は上級者の評価は高くガイドブックには載る。トライは大いにしたい。 α 星から入れやすく、下は7008に続く。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
375	7006	GC	10.5	2.8'	Class 1	γ Del	**

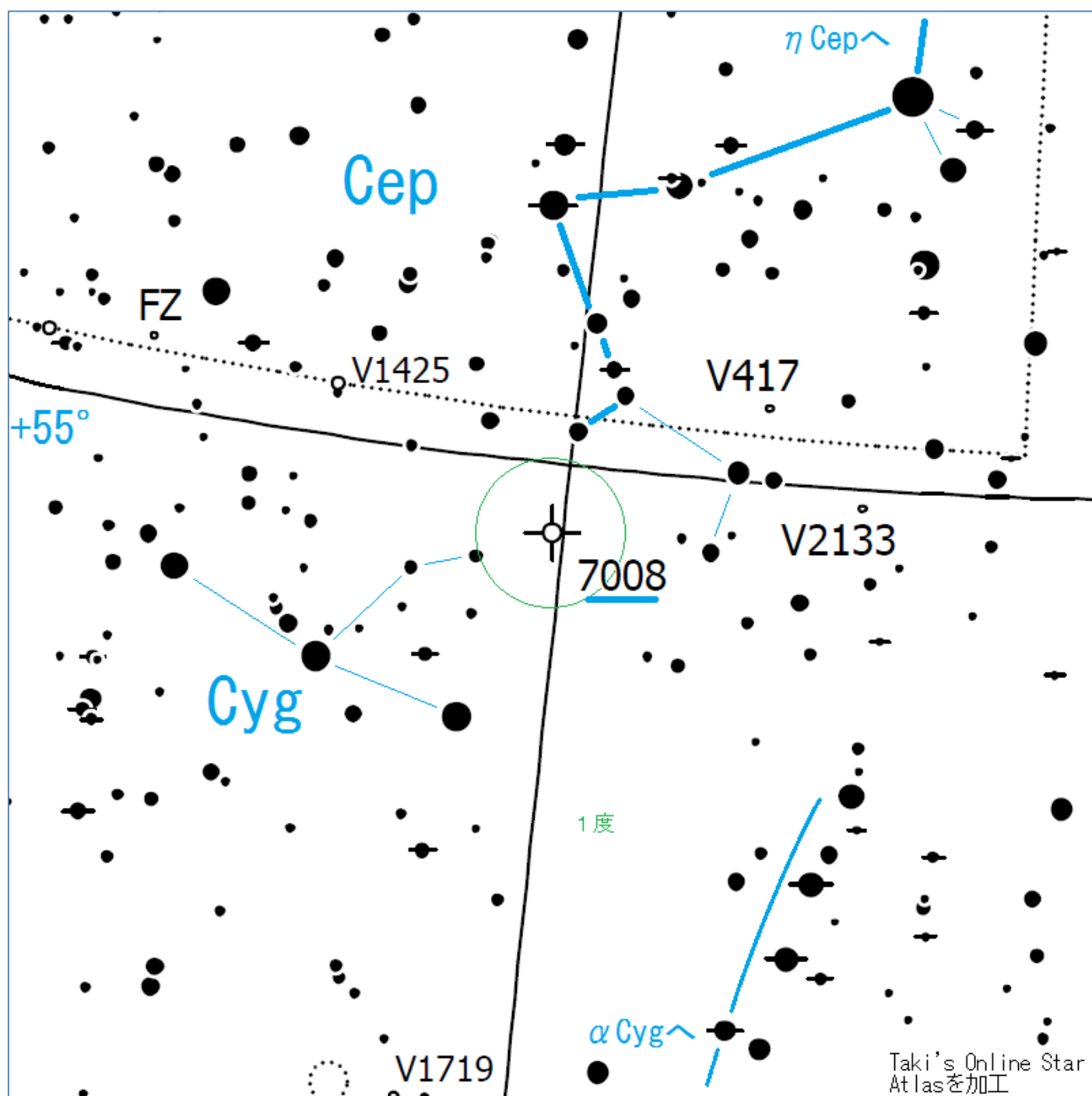
JR' s Deep Sky Atlas No. B-26 or C-175



遠い球状星団でマゼラン雲並だが 2419 には及ばない。クラス 1 で 10 等台なら容易と思うが難しい。季節のせいかな。いるか座の γ 星と Σ 2725 星は容易なダブル二重星。そこから二重星 Σ 2738 を見つけ、丁寧に探す。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
376	7008	PN	10.7	83"	cs=13.2	η Cep	**

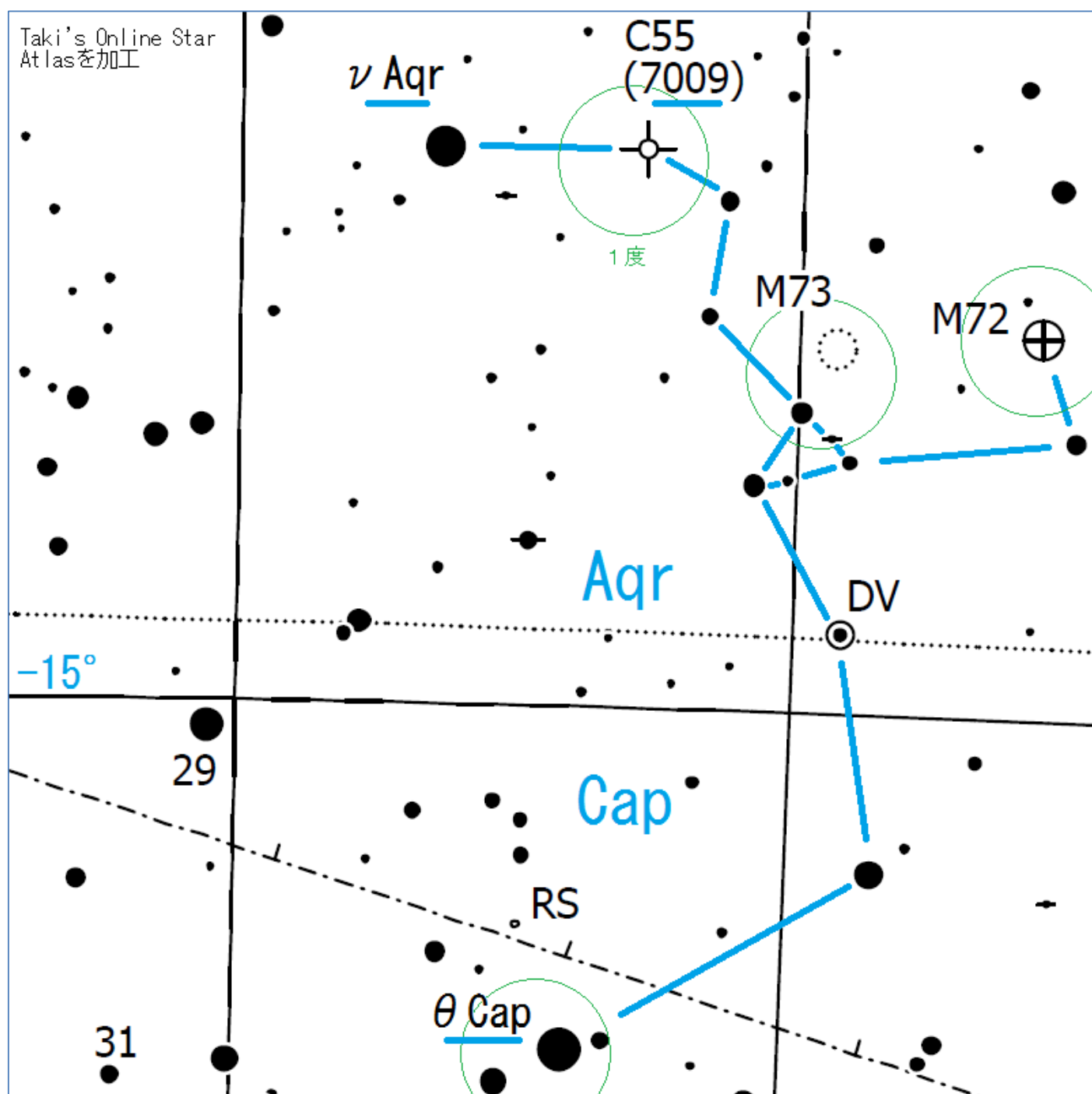
JR' s Deep Sky Atlas No. B-12 or C-59



やや大きく淡いが見易い惑星状星雲。入れにくい。星の多い6939方面から南に下るコースにした。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
377	7009	PN	8.3	>25"	cs=12.8	β Aqr	***

JR' s Deep Sky Atlas No. B-47 or C-316

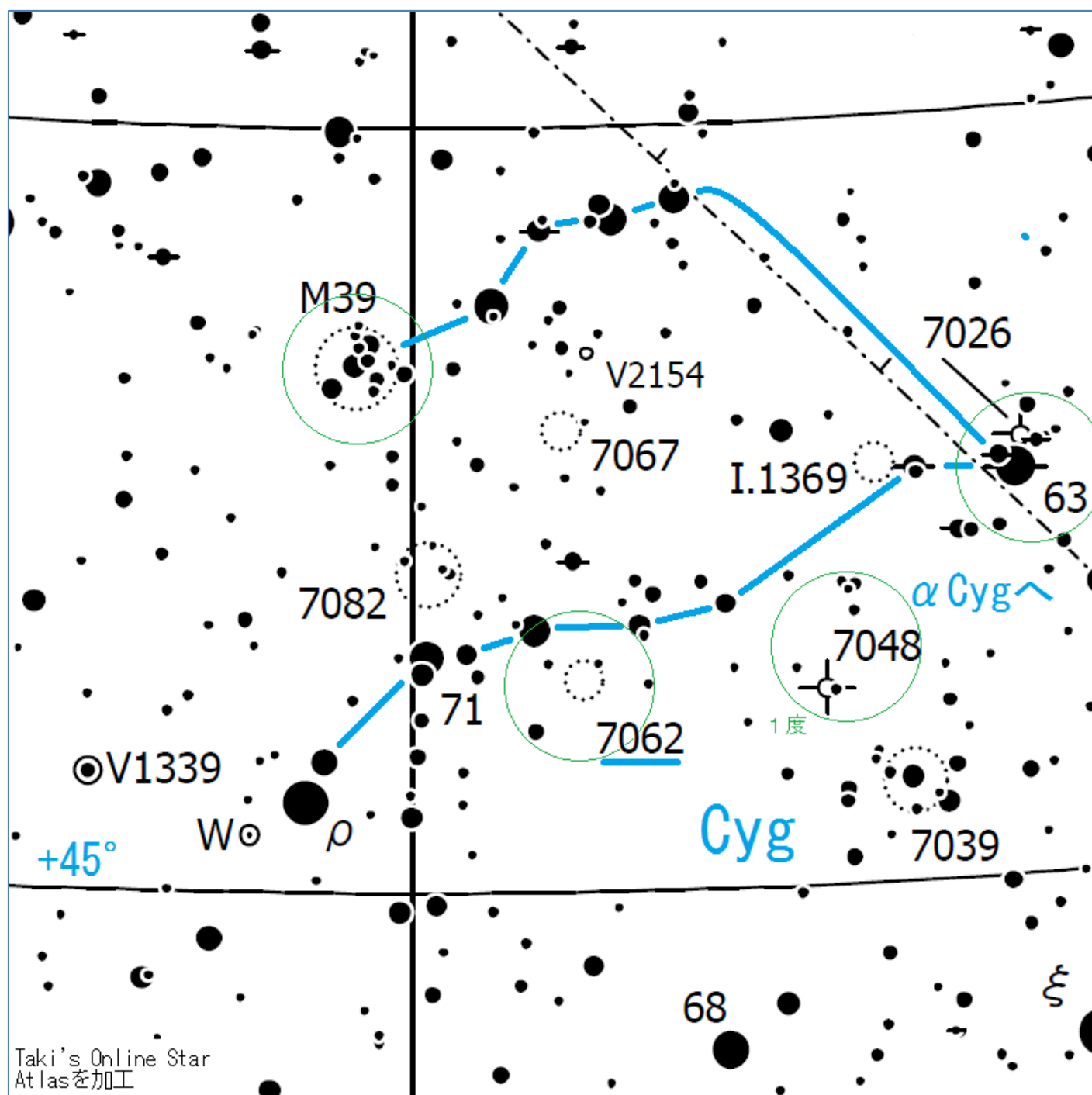


7009 は土星の輪のような小さい突起があるが、突起は大口徑向きである。星雲は明るく小望遠鏡で可で M72、M73 よりはるかに容易だ。 β Aqr から ν 星をいれ 8 等星のつもりで探すとボケた星として解る。サイズが 20~30 秒なので土星的だが色は青系統だろう。

普及した訳語は 7009 が「土星状」星雲、3242 が「木星状」星雲だが原語に差が有るので同じ訳はおかしい。「土星」星雲と「木星の影」星雲的な訳になることは 3242 でも述べた。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
379	7062	OC	8.3	6'		α Cyg	-

JR' s Deep Sky Atlas No. B-12 or C-92

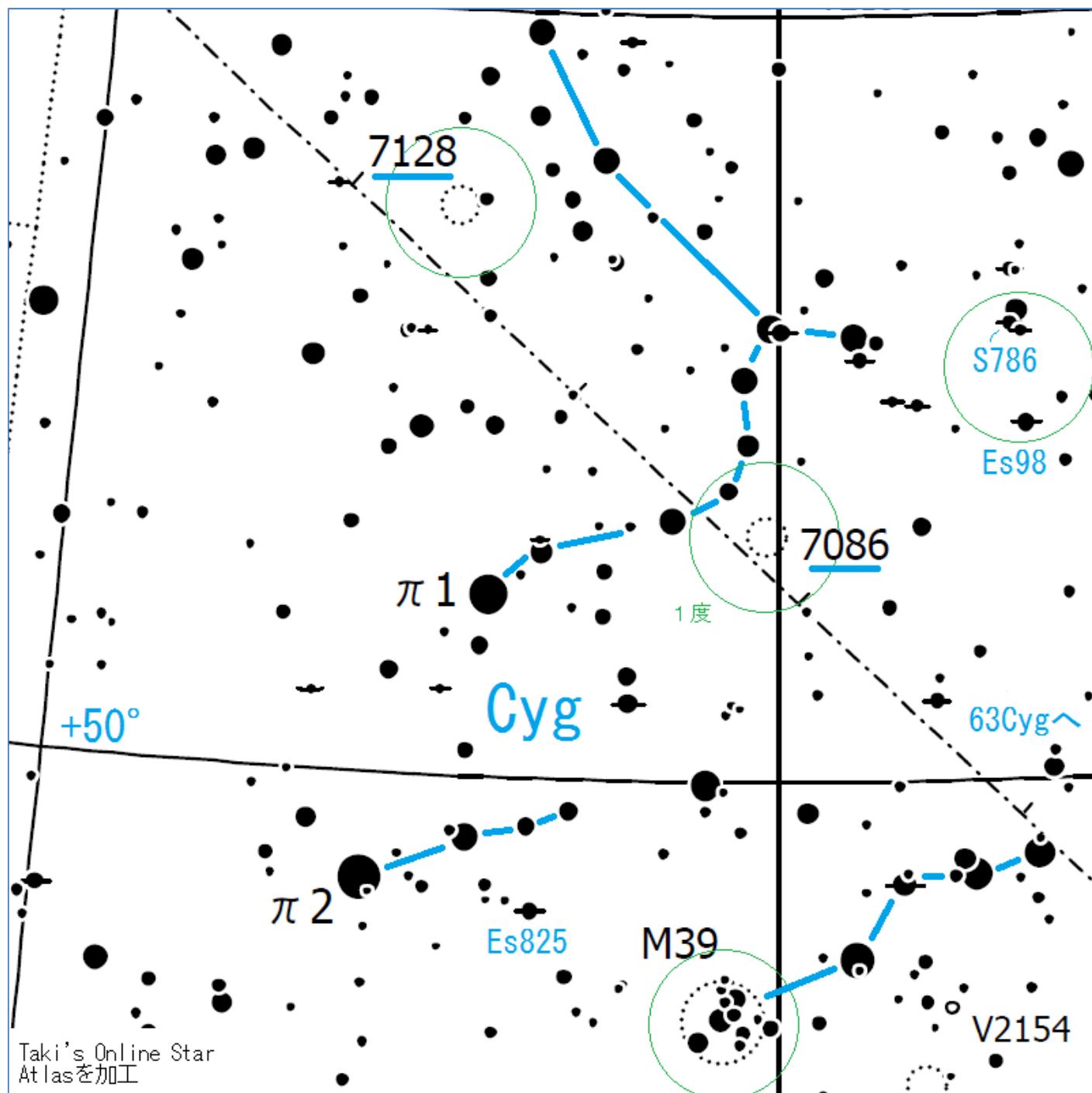


デネブから 63 番星に行って M39 を見つける星の列がある。その下に星の列がもう一つあり 7062 が居るようだ。

付近では M39 が圧倒的で 7026 も良い。7048 は淡い。7062 を見る人は少ないのではないかな。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
380	7086	OC	8.4	9'		α Cyg	-
381	7128	OC	9.7	3.1'		α Cyg	-

JR' s Deep Sky Atlas No. B-12 or C-58

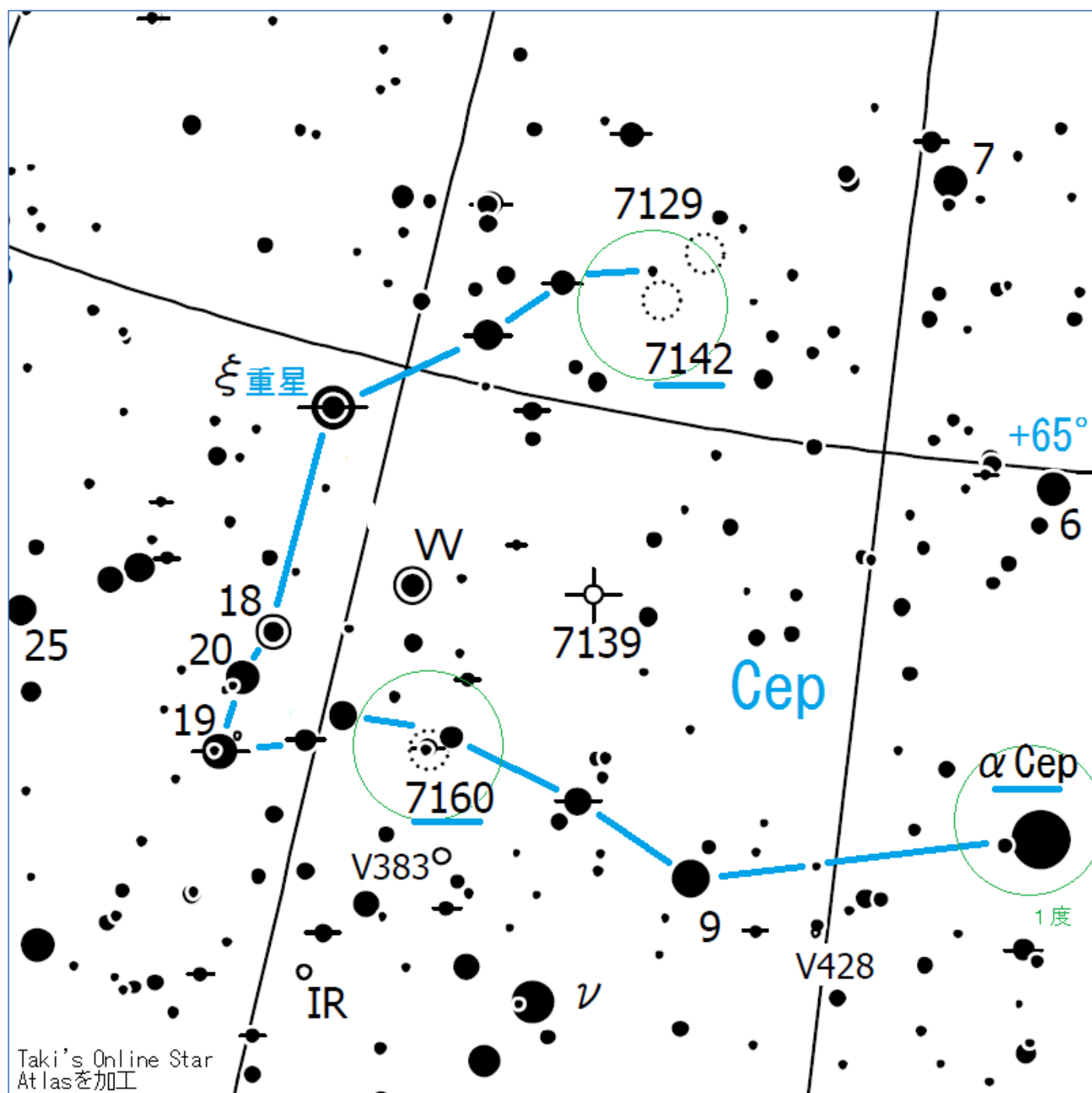


銀河を北上する。M39 の北方でケフェウス座に向かう。小さな星団。

ハーシェルは、ただの星を数え上げて、銀河系の大きさを測ろうとした人だから、小さい散開星団を数え上げるくらい容易だったろう、と思う選択。付近の恒星の流れが美しい。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	–	Near star	Rating
382	7142	OC	9.3	4.3'		α Cep	–
383	7160	OC	6.1	7'		α Cep	****

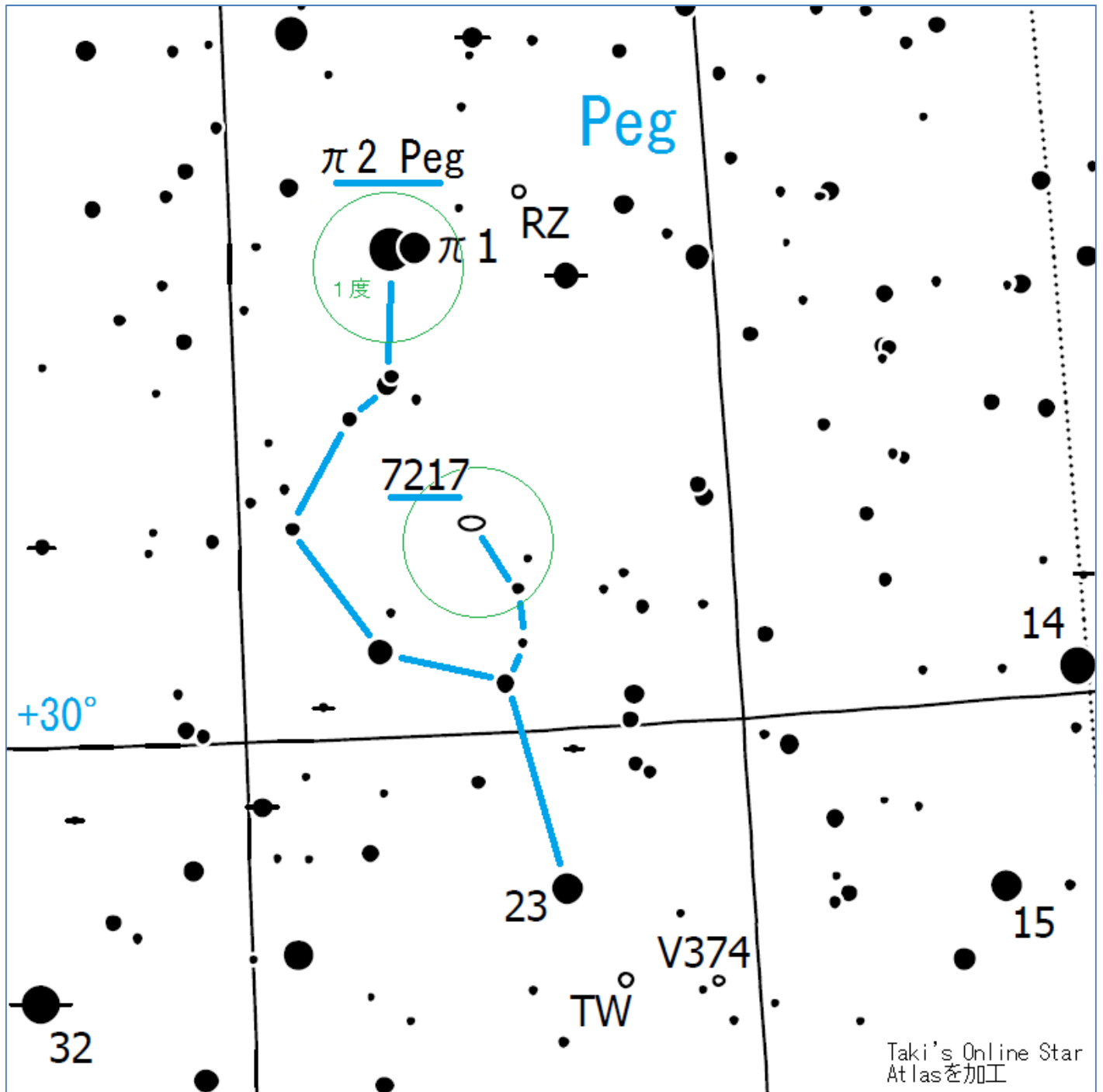
JR' s Deep Sky Atlas No. B-2 or C-31



7160は明るい星のこじんまりした星団。付近に星が多くにぎやか。二重星ξ星もいい。
7139は13.3等。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
385	7217	Gx	10.1	3.5*3'	SB=12.5	π Peg	**

JR' s Deep Sky Atlas No. B-27 or C-129

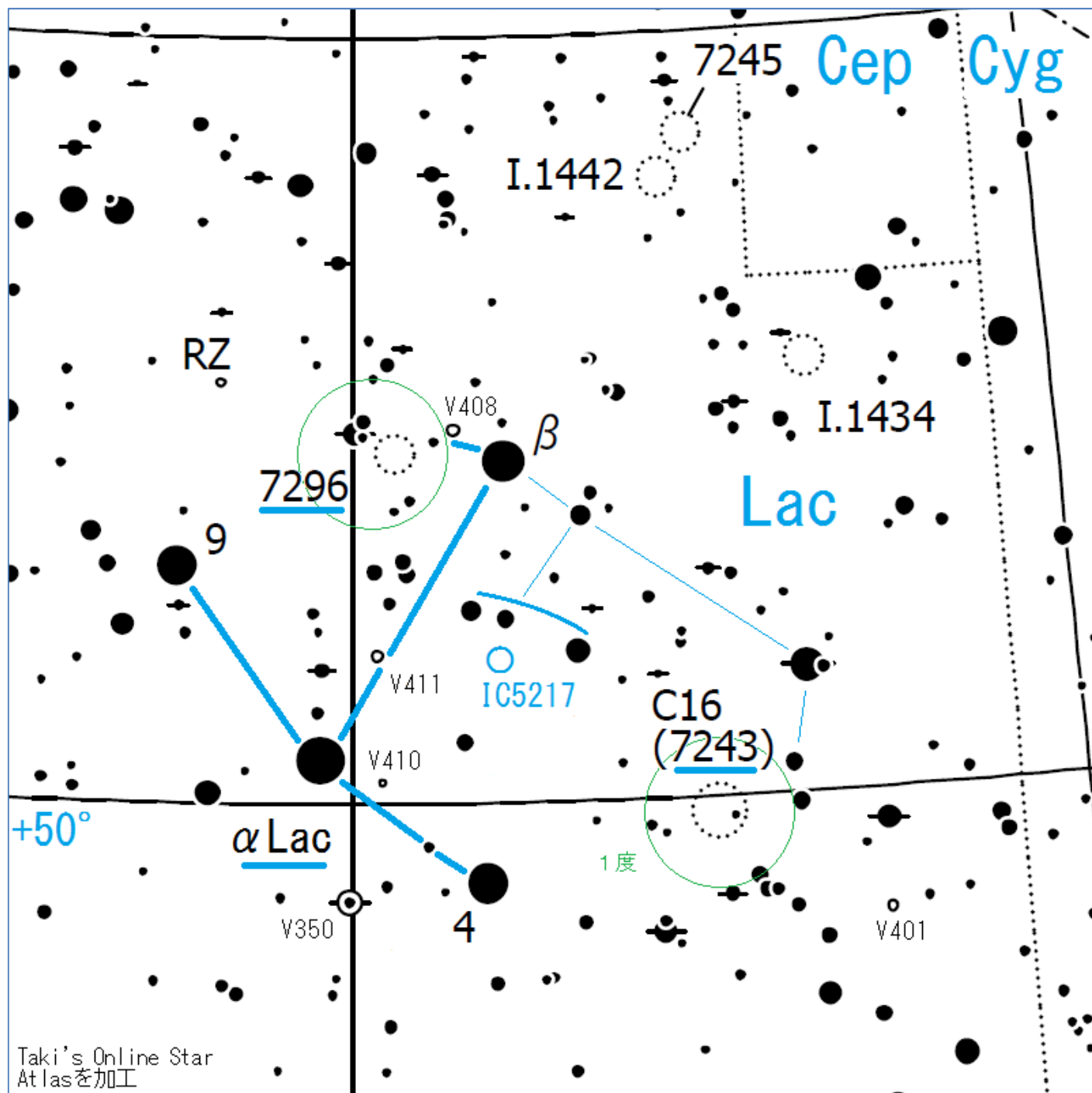


ペガサス座では 7331 に次いで見易い。

ハーシェル 400 の旅も 95% を過ぎると経験上、10 等の銀河で輝度があって観望ガイドに出てこない無名の銀河だと、「渦や暗黒帯は見えないのだな」と予想がたつ。それでも市街地で見えるのは有りがたい。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
386	7243	OC	6.4	21'		α Lac	****
387	7296	OC	9.7	4'		α Lac	-

JR' s Deep Sky Atlas No. B-11 or C-57



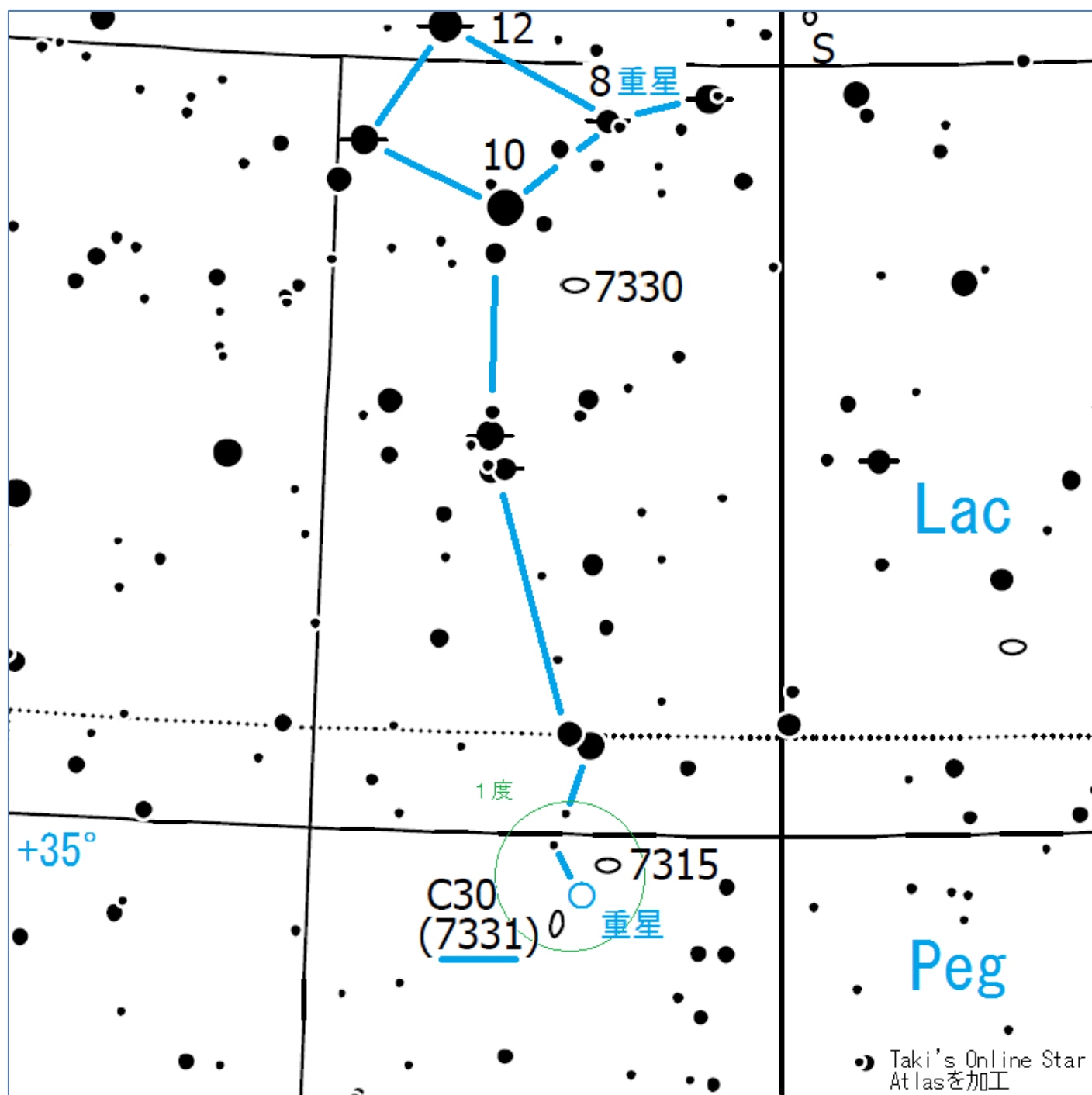
とかけ座は、4つの星を錨の形で見つける。似た星が多いと迷うので4つが良い。

7243 は小望遠鏡ではやや地味。

IC5217 は11.3等で6“と小さいが対象となる。滝星図は惑星状星雲の欠落が多いが光度はあるので付記する。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
388	7331	Gx	9.5	11*4'	SB=13.3	η Peg	***

JR' s Deep Sky Atlas No. B-27 or C-128



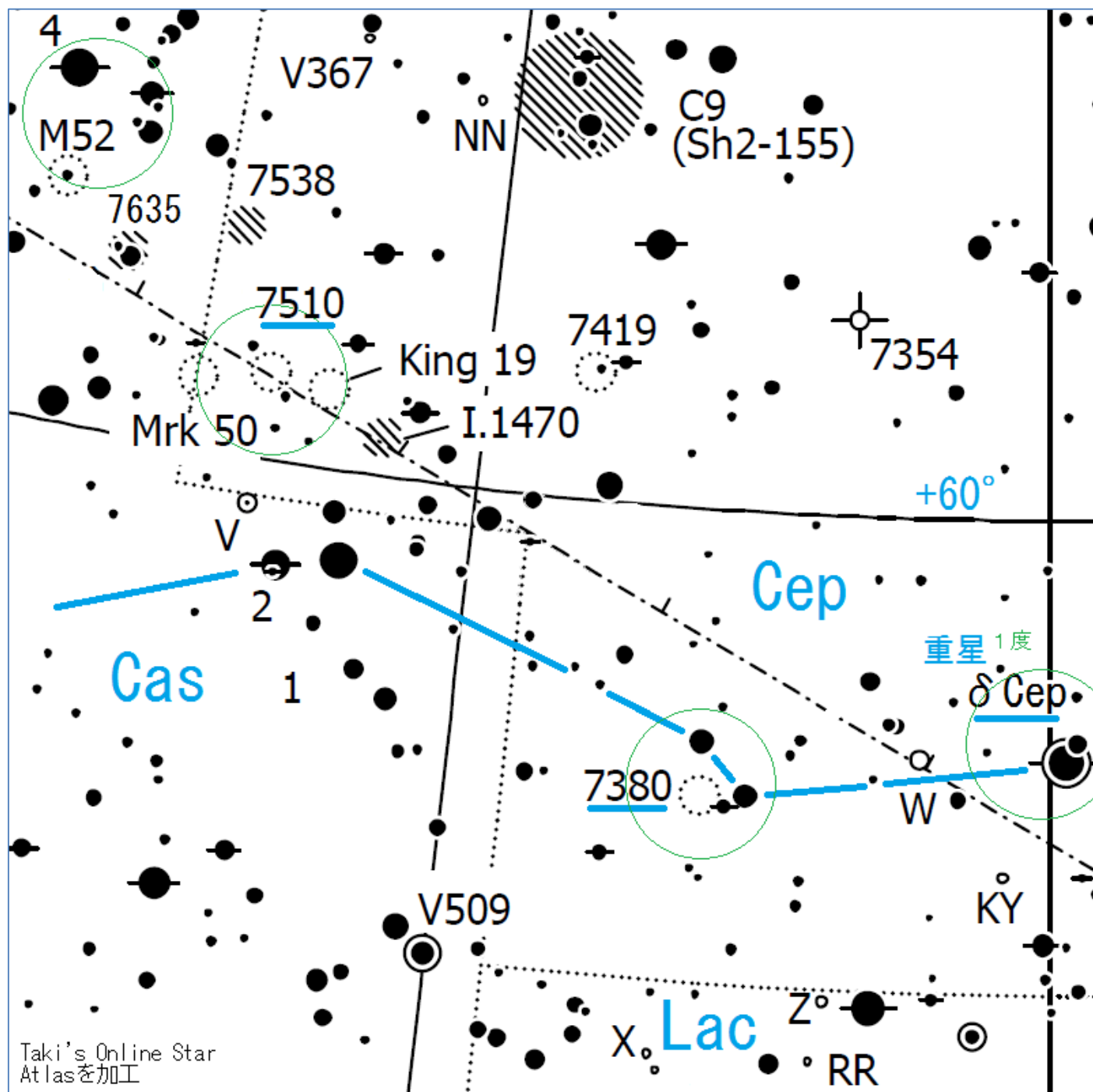
ペガスス座から入れるのだろうが、微星のつながりで北側からにした。二重星 8 Lac から対の星を入れていく。8インチで丁寧にいれる。

7331 は秋の銀河ではマシな方だが、明方観望が夏であまり見えない。ライバルは 2903 で、それより暗く空も悪いと思えば予想が付く。夏山で明方に見るなら好適だろう。

付近にステファンの5つ子という銀河団があるが、12等後半から13等台。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
389	7380	OC	7.2	12'	BN 付き	δ Cep	***
392	7510	OC	7.9	4'		δ Cep	-

JR' s Deep Sky Atlas No. B-11 or C-30

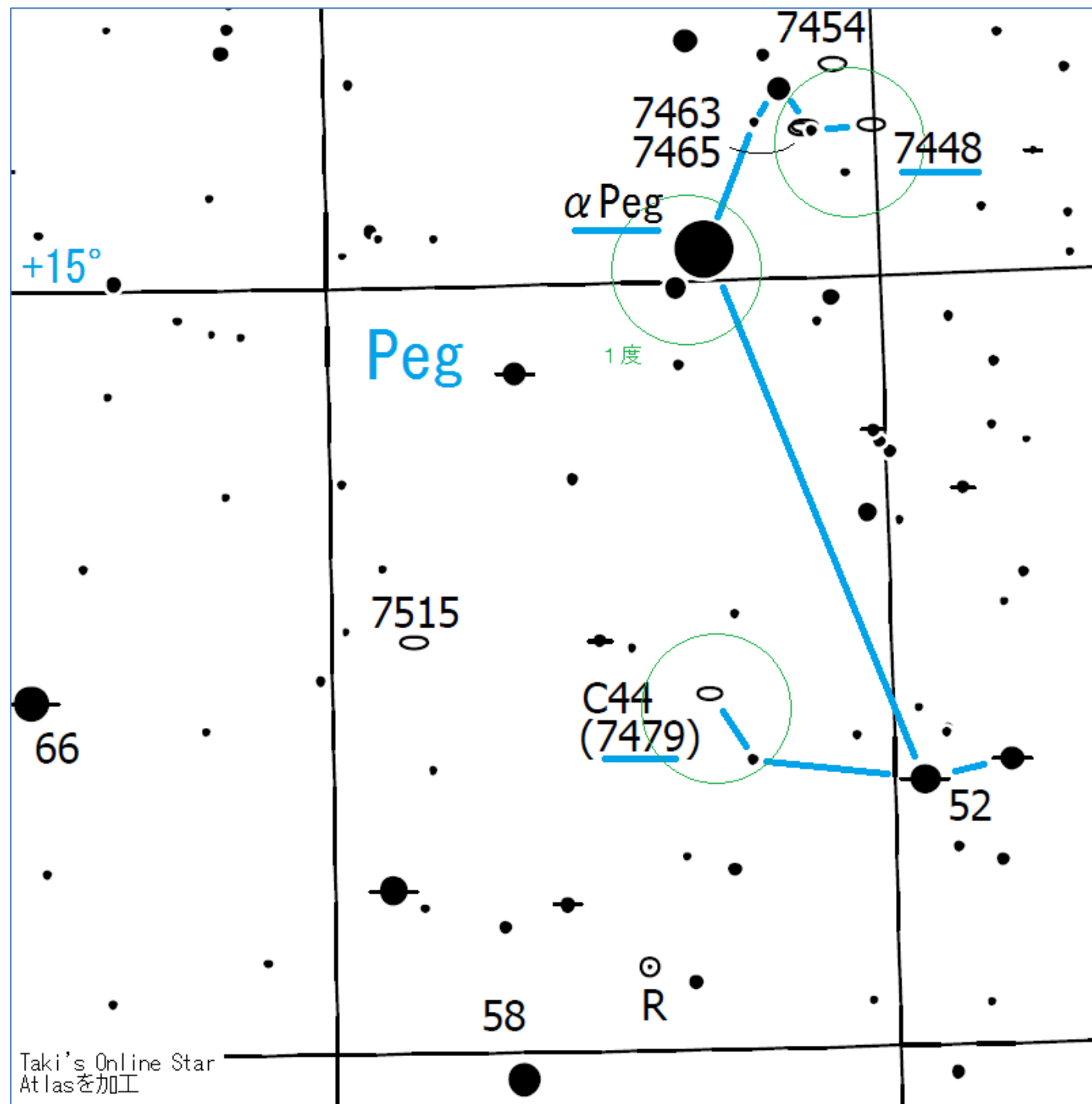


二重星 δ Cep から昇る順にカシオペア座に向かっていくと風情はある。いろいろ有りそうで無さそうな地域である。

7354 は $m-12.2 > 20''$ だから見えそうだが微妙だ。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
390	7448	Gx	12.6	2.5*1.0'	SB=12.6	α Peg	-
391	7479	Gx	10.8	4.0*3.1'	SB=13.4	α Peg	-

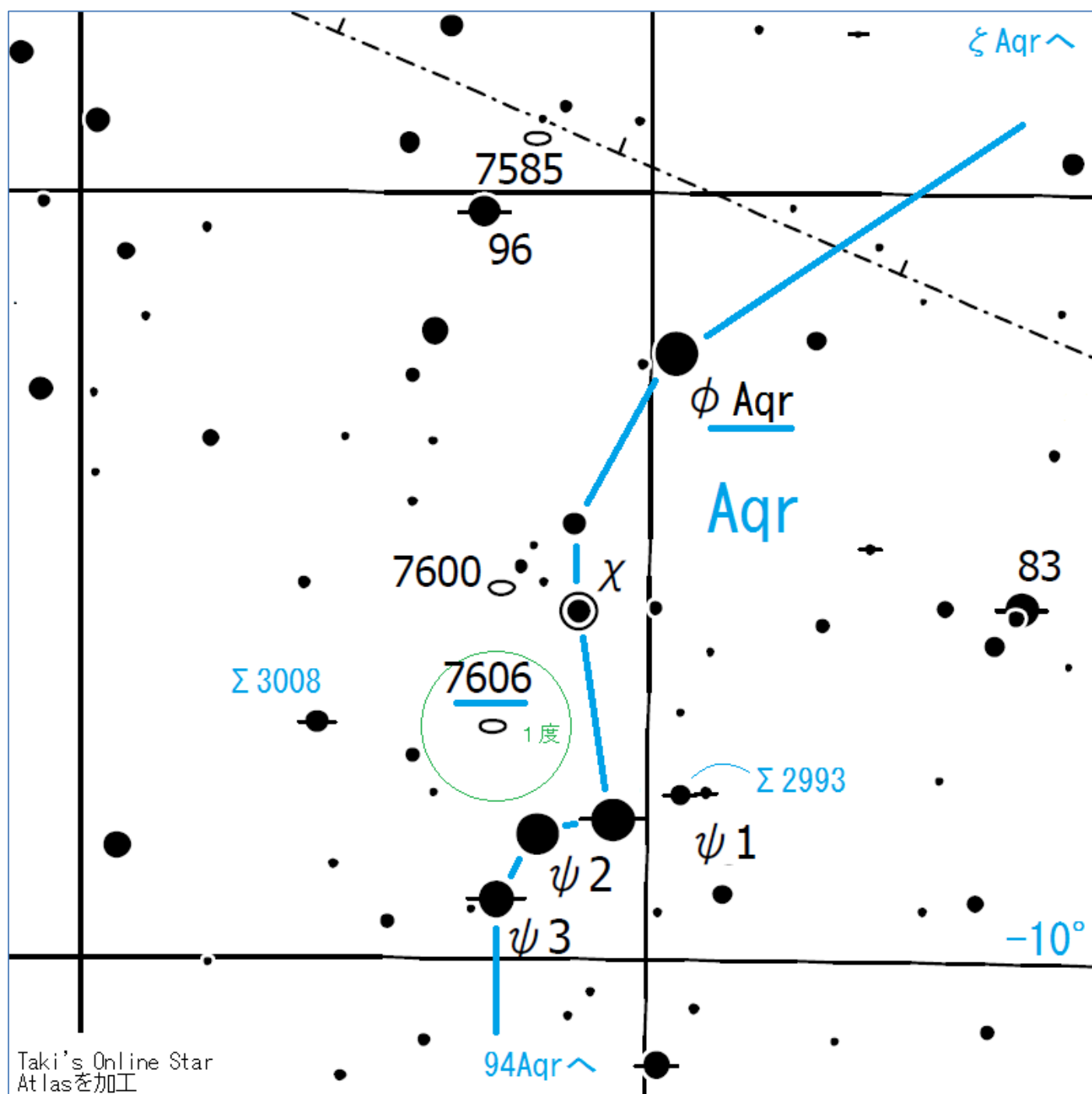
JR' s Deep Sky Atlas No. B-27 or C-217



7448は11等台とする資料もあるが暗いはず。7463と7465は13等台だから銀河団の魅力で推すわけにもいかない。謎のランクイン。
7449も、観望家によると、易しくはなさそう。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
393	7606	Gx	10.8	4.4*2.0'	SB=13.0	ϕ Aqr	-

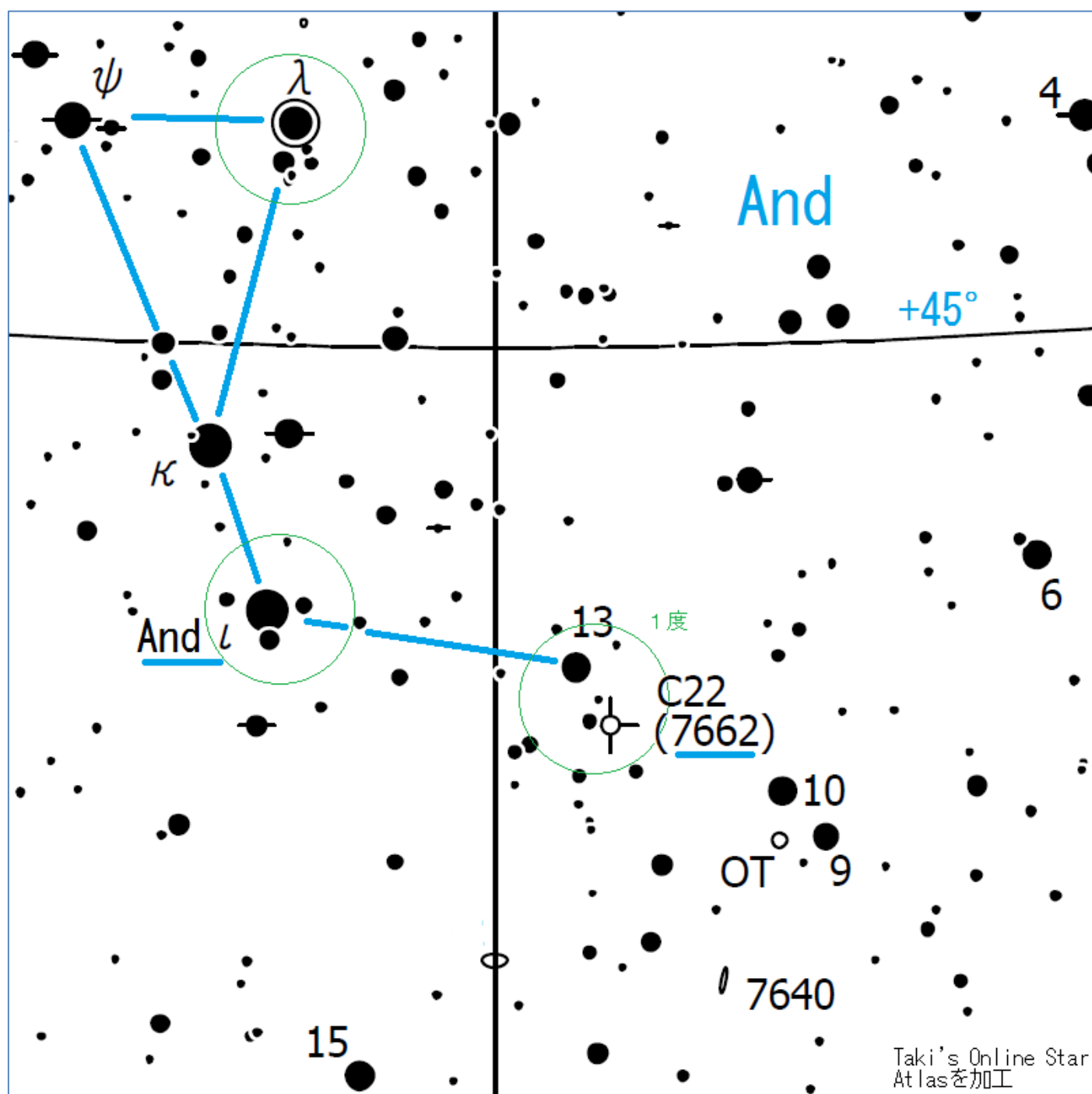
JR' s Deep Sky Atlas No. B-46 or C-311



α PsA から延々とたどり、107Aqr や 94Aqr を見て、その上。または右上から、みずがめの三ツ矢と星から入れても良い。「へ」の字の星はみずがめ座に多いから 6 等星図で丁寧に追う。2 つの二重星は易しい。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
394	7662	PN	8.3	>12"	cs=13.2	λ And	***

JR' s Deep Sky Atlas No. B-10 or C-89



7686 の南で、その延長で入れる。

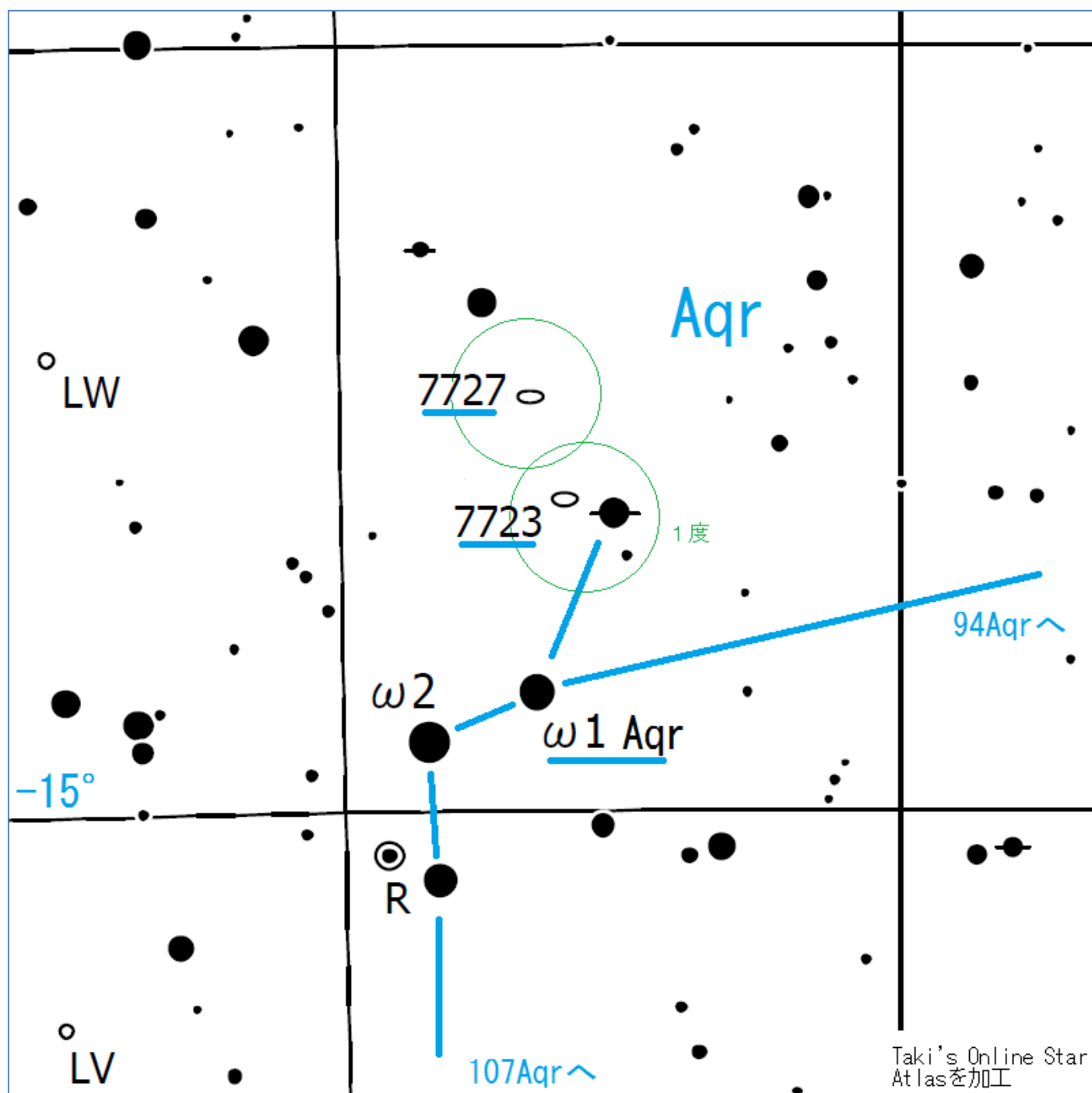
2 インチでも見えるお勧めの惑星状星雲。とかげ座の左に星が連なっている延長で探す。

中心星は中口径で見えそうだが星雲が明るいので見にくいようだ。明るい内郭が12"で外郭も淡くはなく20～30秒のようだ。三重構造。

名前は「青い雪玉」、雪だるまとする人が多いが「snowball」なので誤訳だろう。8等の星雲に「青い」という形容詞が付くのだから彼の地は口径が違う。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
396	7723	Gx	12.2	2.8*1.9'	SB=12.9	ω Aqr	-
397	7727	Gx	10.6	5.6*4.0'	SB=13.8	ω Aqr	-

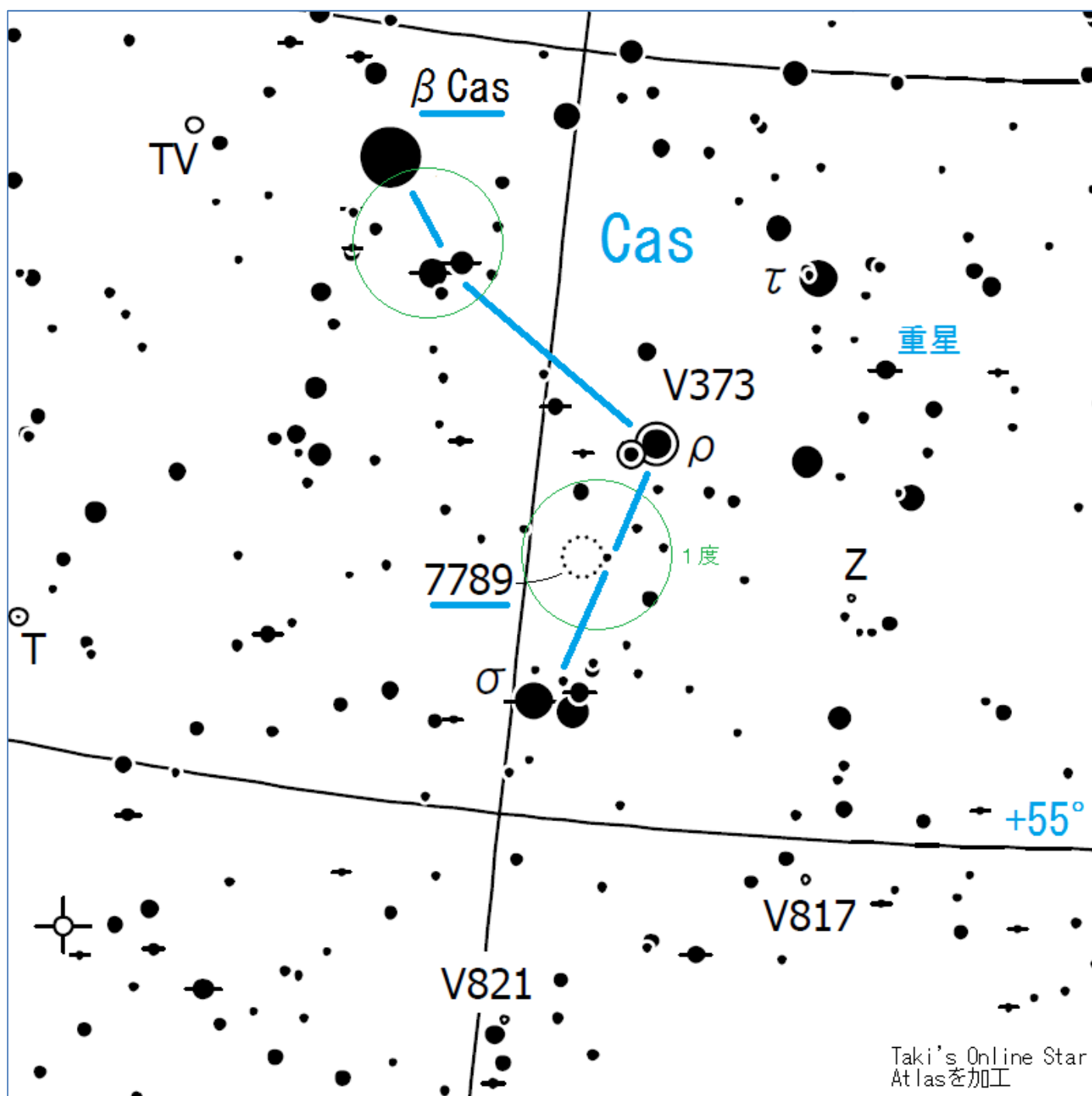
JR' s Deep Sky Atlas No. B-64 or C-311



10 等後半だけど淡い銀河と、12 等の銀河で、そこそこ南天。見えないと思う。
94 番星と 107 番星の間でいつも通る道。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
398	7789	OC	6.7	15'		β Cas	** 難

JR' s Deep Sky Atlas No. B-10 or C-55

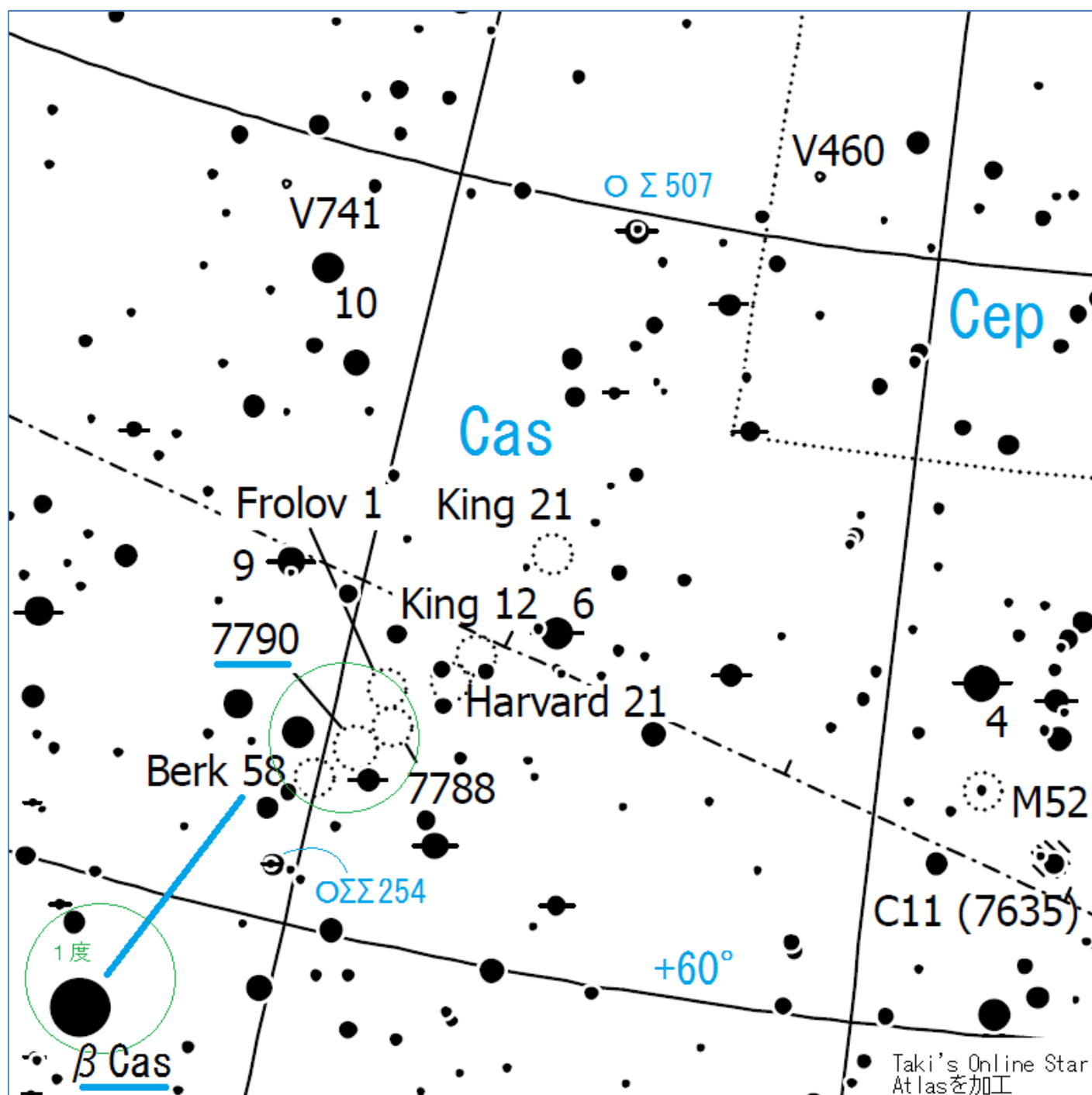


6等台で二等星に近く上級者の評判が良い天体。市街地では難しい1つ。 β 星から対の星を3組たどる。2組目と3組目の間にいる。南風が強く吹く夏の明方に、2インチで見えてしまう日もあり。解ってくると8インチで判定できる。

Taki's Online Star
Atlasを加工

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
399	7790	OC	8.5	17'		β Cas	-

JR' s Deep Sky Atlas No. B-10 or C-29

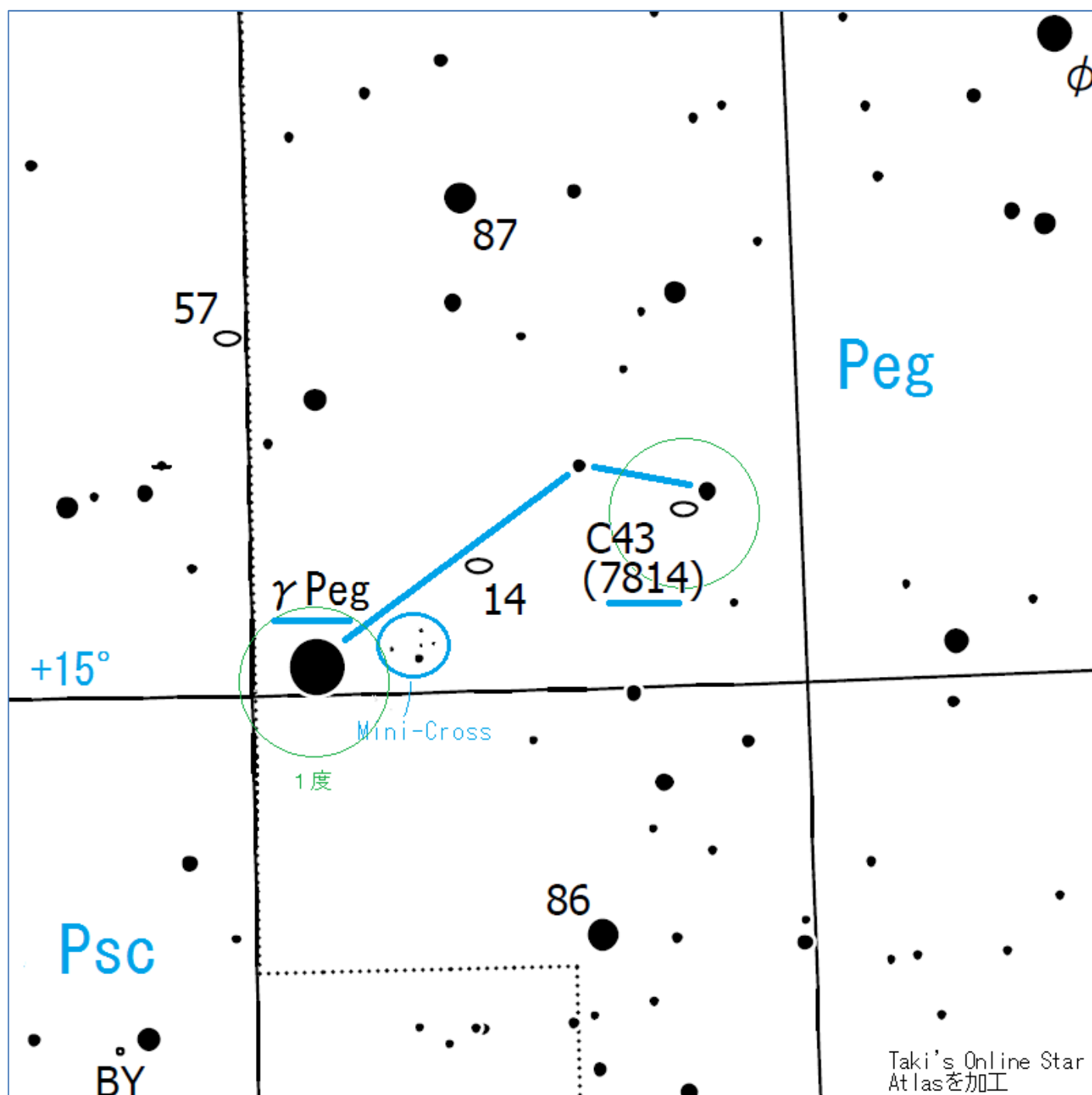


7789の2等暗いバージョンか。色々な星団が直線状に並び深宇宙の対象になるらしい。整理しきれないのでそのまま載せる。

6番星～4番星を経てM52という地味なメシエ星団。

No.	Name	Typ	Mag.	Size	-	Near star	Rating
400	7814	Gx	10.6	6.0*2.5'	SB=13.4	γ Peg	-

JR' s Deep Sky Atlas No. B-26 or C-169



暗黒帯がある銀河。上級者の意見でも淡いようです。

γ 星のすぐ右にアステリズムの小白鳥座があるので付記しておきます。これを取り上げるくらい見所の無い星座です。

最後の50は秋なので暗い天体が多くありました。天体が疎らなので枚数も増えました。

以上で400番が終了です。